

岡山県立岡山芳泉高等学校

人間的成長を育む社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

- ・「やった」という経験＝実践力
- ・自身の活動が他者のためになっている感覚＝自己有用感

■活動内容

7月と12月の2回、隣接する芳泉小学校、芳泉中学校の生徒への学習支援を行った。7月は毎年実施している芳泉小学校の児童対象のもので、岡山市立南公民館主催で芳泉高校を会場に行われた。活動内容は、小学生の夏休みの宿題の学習補助で、参加者は教員志望の生徒たちを中心に構成されている。生徒1人が1、2名の児童を担当し約2時間実施した。

12月実施の学習支援は、芳泉中学校の生徒対象に実施された。7月よりも参加人数は少なかったが、学習レベルが高くなっている中、一所懸命に各自が工夫を凝らしながら支援していた。

■成果・効果

7月の活動から、他者に教える難しさを実体験として感じた。日頃、異年齢の児童・生徒と接する機会が少なく、当初は戸惑いと恥ずかしさから会話も上手くできなかったが、それぞれが児童にあった対応を考え実施していく中で、後半には打ち解けて仲良く楽しく活動できていた。ここで得た達成感や充実感が、反省点を改善しより良い内容の活動にしていきたいとの気持ちを強くさせた。また児童から「楽しかった」「親切でよく内容が分かった」という感想をもらったことで、もっとやりたいという気持ちを強くした。それが反映されることになったのが、12月の活動であった。中学生という今までとは異なる生徒対象ではあったが、積極的に関わり取り組むことで達成感や責任感、他者とのかかわりの中から自分自身の存在感（有用感）を感じ取っていった。この経験が本校の他の生徒へと広がり、年度末には、他の中学校での学習会参加を申し出てくる生徒が現れた。教員志望者のみならず、自ら経験・体験を積もうという姿勢の輪が確実に広がった。

7月の学習活動



12月の学習活動



岡山県立岡山城東高等学校

地域に根ざした社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

自主的・自律的な成長を促し社会の構成員としての自覚を持たせるとともに、自己肯定感を高めさせ、自己探究や自己実現を図る能力や態度を育成する。

■活動内容

①小学生学習支援ボランティア（ジョトスタ）

教育学系の大学や職種に興味を持つ城東生1～2年次生の希望者が、地元地域の小1～6年生を対象にして、2日間実施。延べ200名の小学生が参加。夏休みの課題を中心にした学習指導や支援を行った。

②保育園・こども園・幼稚園・小学生との交流会

地元企業の中国銀行東岡山支店と協働で保育園・こども園・幼稚園・小学校と交流を行った。

施設環境整備だけでなく、ボール遊び・歌など部活動の特性を活かした交流を行った。

岡山大学の出前授業のサポートとして参加した科学実験教室では、理数学類の生徒が参加し、日頃の学びを活かした支援ができた。

■成果・効果

小学生学習ボランティアをはじめ、本校で定着した社会貢献活動が制限なく実施できたことで、昨年度よりも延べ人数で約265名（R4:1058 R5:1323）増加した。

地元企業「中国銀行東岡山支店」様との協働ボランティアが定着し、地域と交流する場が増えたことで、生徒の地域貢献度が高まっている。

①小学生学習支援ボランティア



②保育園・こども園との交流会



岡山県立岡山工業高等学校

地域あいさつ運動による社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

「地域あいさつ運動」は、生徒が地域社会と繋がる糸口として実施している活動です。8年目となる今年は平均80名を超える生徒が参加しました。生徒の自主性に任せ、事前の希望調査で参加者を募り実施しています。交通補助や地域の方々とあいさつを交わすことで、地域の一員である自覚と礼儀の大切さを身に付けて欲しいと思います。

■活動内容

伊島小学校、石井小学校と連携して取り組んでいます。毎月10日を基準日として計画し、7回実施しました。

取組方法は以下の通りです。

<事前指導>

- ・月初めに社会貢献活動担当教員から各クラスへ参加者募集のアナウンス。
- ・参加希望調査をまとめ、人数確認（多すぎる場合は次回参加へ割り振る）。
- ・参加者を体育館等に集め、参加するにあたっての注意事項等を担当者から連絡。

<実施>

- ・早朝7：45～8：15までの約30分間あいさつ運動を実施。
- ・あいさつ運動実施場所へ担当教員を割り振り、出欠確認及びマナー指導。
- ・生徒は「さわやかに、礼儀正しく」を心がけてあいさつをする。

<事後指導>

- ・出欠の確認及び、振り返りシートへの記入。

■成果・効果

- ・あいさつを交わすことの「気持ち良さ」を感じられる。
- ・地域の方から「お礼の言葉」をいただき、自己肯定感を高めることが出来る。

あいさつ運動～伊島小学校前～



岡山県立東岡山工業高等学校

TokoToko プロジェクト～東工地域学～

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

TokoToko プロジェクト～東工地域学～は、これからの地域を支える人材を育成するため、地域グループと協力し、科学の魅力やものづくりの楽しさを発信するための活動である。

参加した地域子ども達がものづくりの楽しさを実感し、工業技術への興味・関心を持つことをねらいとしている。また、本校生徒にとっても、地域子どもたちを指導したり、分かりやすく説明したりする体験を通じ、コミュニケーション能力の向上や社会に出て自立する力を涵養し、地域の一員としての自覚や自信つけさせることが目的である。

■活動内容

出前講座（岡山市立山南学園）

令和5年6月15日（木）4年生、9年生 100名

紙飛行機教室…紙飛行機づくりを通してものづくりの楽しさを伝えた。

出前講座（サマー☆チャレンジ 2023）

令和5年8月7日（月）小学校4～6年生 15名

製作「キラキラビーズを作ろう」…小瓶にビーズ、ラメを入れて、瓶底にフルカラー変色LEDライトをテープで取り付ける。

出前講座（岡山市立角山小学校）

令和5年11月16日（木）小学校4～6年生 18名

モーターに関する実験…プラレールを用いて直流モーターと回転方向についての実験。
ミニ電車の試乗…グラウンドにおいて、交代で自作ミニ電車に乗車。

出前講座（和気町立佐伯中学校）

令和5年12月20日（水）中学2年生 14名

「人工イクラ」-コンブの成分を使って人工イクラを作製した。
「紙飛行機教室」…紙飛行機づくりを通してものづくりの楽しさを伝えた。

■成果・効果

どの学校でも、児童・生徒は生き生きとして授業体験を行った。本校生徒も主体的に子供達とコミュニケーションを取りながら、教えることを通じて、人に喜んでもらえる嬉しさややりがいを体験することが出来た。

紙飛行機教室



サマー☆チャレンジ 2023



ミニ電車の試乗



岡山県立東岡山工業高等学校

岡山桃太郎空港へ綿花の花台を贈呈

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

お客様の要望を聞き、考え、提案し、協力して主体的に課題を解決する力。

■活動内容

「岡山桃太郎空港」を利用するお客様に『工業・農業高校の力で岡山の綿花をもっと知ってもらおう』を目標に興陽高校と協力し課題解決型学習に取り組んだ。

岡山桃太郎空港と興陽高校をオンラインで結び、会議や意見交換を行った。興陽高校に綿花を育ててもらい、「綿花を展示する花台」を2台製作して展示することとなった。本校の電気科と設備システム科の2科で協力して、看板の製作や木材加工を行い、花台を空港に寄贈した。また、綿花のシーズンが終了した後は、岡山電気軌道様のバス停に花台を設置し直し、季節の花の鉢植えを展示した。

■成果・効果

- ・工業高校で学んできた専門知識を生かして花台を完成させ、空港に寄贈することができた。
- ・他校の生徒と本校の2科で協力して専門の知識の伸張がおこなえた。
- ・要望を聞き、提案をするなど、協力して問題を解決する能力を身に付けることができた。

岡山桃太郎空港へ花台の贈呈式



花台を空港内の庭園に設置



岡山県立倉敷青陵高等学校

生徒の自主性を生かした社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

地域社会、とりわけ小学生に対して自分に何が提供できるかを考え、自分の考えを伝える力。

■活動内容

- 7月29日 理科実験教室（5，6年生対象）
 - ・洗剤について調べよう
 - ・プラネタリウムを作ろう
- 10月24日 音楽交流会（3，4年生対象）
 - ・オカリナに絵付けをして演奏しよう
 - ・吹奏楽部との音楽交流会
- 12月15日 クリスマス交流会（1，2年生対象）
 - ・世界のクリスマス
 - ・ビンゴ大会
 - ・クリスマスリースを作ろう
- 3月 2日 サッカー教室（全学年対象）

■成果・効果

すべての活動は一貫して決められた予算の中で生徒に活動内容を考えさせ、企画・立案させた。その結果、生徒はより意欲的に活動に取り組む姿勢が見られた。小学生に対する理解を深めようと試行錯誤する姿が見られた。また、生徒が前面に出ることで小学生についても高校生に対する親近感がわき、高評価につながった。

理科実験教室



クリスマス交流会



岡山県立倉敷天城高等学校

地域に根ざした社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

学校内外で様々な人と触れ合うことで、豊かな社会性、コミュニケーション能力を身につける。
地域に貢献することで、地域社会の一員としての自覚を持ち、社会的規範意識を高める。
活動を通じて達成感、自己肯定感を高める。

■活動内容

- 1 年生
藤戸史跡についての学習および清掃活動
- 2 年生
近隣教育施設、特別養護老人ホーム藤戸荘にてふれあい活動
- 3 年生
学校周辺の清掃活動

■成果・効果

- 1 年生
地域の歴史を学び背景を知ること、自校や地域への理解が深まった。
地域の方とのふれあいを通じて地域社会の一員であるという自覚が芽生えた。
- 2 年生
異年齢交流を通じてコミュニケーション能力が向上し積極的に人と関わる態度が育った。
訪問先の方々のことを考え、事前準備を進め、相手を思いやる心が育った。
進路を考えるきっかけになった。
- 3 年生
清掃活動を通じて地域の方とのかかわりを深めることができた。

園児とのふれあい活動



藤戸史跡についての学習



小学生を招いてのクイズ大会



高齢者とふれあい活動



岡山県立倉敷南高等学校

共に学ぶ～中学校での学習支援ボランティア

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

地域社会の一員としての自覚と、他と繋がり自己探求や自己実現をはかる態度や能力

■活動内容

新田中学校学習支援ボランティアでは英語と数学の学習支援活動を行った。延べ26人の生徒が参加し、中学生の夏休みの課題について解説したり質問に答えたりするといった指導を行った。

■成果・効果

去年は計画するもコロナ禍のもと実施することができず、今回初めての実施となった。社会貢献の貴重な機会となるとともに、教職を志す生徒にとって、中学生の学びの困り感や、教える側として答えを提示するだけでなく、どうやったら答えに到達することができるのか、どのような声掛けをすれば中学生に納得してもらえるか、といった点など、「教えること」に真摯に向き合うことによって、あらためて自らの学びへの意欲を高めることができた。

学習支援ボランティア



岡山県立倉敷古城池高等学校

探究活動を深める小学校への出前講座

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

探究活動をさらに深め、主体性を持って実行することにより、対象者に応じた表現力、プレゼンテーション力を身に付けさせたい。

■活動内容

食品ロス削減に関する出前講座

令和5年 7月 7日 倉敷市立第四福田小学校

令和5年 10月 13日 倉敷市立第三福田小学校

令和5年 12月 8日 倉敷市立連島東小学校

令和6年 3月 6日 倉敷市立第二福田小学校

本校の探究活動で食品ロス削減の啓発活動している生徒が、地域の子どもたちとともに食品ロスについて考えるために、小学校で出前講座を行った。当日は、食品ロスに関する説明をパワーポイントを用いて行ったり、話し合いやクイズを行い、楽しみながら理解を深めた。

小学校では、食品ロスについての知識がある児童もいるため、さらに身近な問題として捉えられるよう、ファストフード店やお菓子メーカー、そして、地元団体による食品ロスに関する取り組みなどを紹介した。クイズでは、最初の説明の復習を行い、学習内容が定着できるようにしたり、さらに深められる問題も出題した。

■成果・効果

今まで自分たちが探究してきたことを小学生にわかりやすく伝えるために、小学校の先生にご指導をいただいた。スライドの文字や写真、図表の大きさや配置など小学生の発達段階を考えながら、昨年度のものをブラッシュアップした。問いかけるような口調で話したり、「コノヒトカン」の実物や動画を準備して興味を引くよう工夫した。発表を通して、伝えることの難しさを感じたり、伝える立場の人の苦労や気持ちを理解することができた。

小学生は、真剣に説明を聞いてくれたり、クイズには元気よく答えてくれたり、自分たちにできることについて活発に意見を言ってくれるなど、生徒が想像していたよりはるかに反応がよく、生徒も達成感を感じることができた。講座後の小学生へのアンケートでも、ほとんどの児童が「よくわかった」と答えている。「話がわかりやすくて、クイズが楽しかった」、「知らなかったことがたくさん知れてよかった」、「自分もできることをがんばりたい」という声が多かった。

同じ地域の異年齢の児童と高校生が接することにより、よい学び合いができた。

世界は一人一人の行動で決まる～
Change the world～



岡山県立玉島高等学校

スーパーサイエンスハイスクールの学びを生かした地域の理数教育の推進における社会貢献活動(サイエンスボランティア)

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

科学実験に関するボランティア活動を通じて、科学的マネジメント力、地域貢献力を育成し、知識や技能を地域社会との共創に活かすという姿勢を身に付けさせ、生徒に実践的な「読み解く力」「考え実行する力」「論じ合う力」を身に付けさせたい。

■活動内容（玉島サイエンスフェア）

対象：近隣の小学生と保護者

実施：本校1年生20名、2年生22名、他校高校生2名

日時：令和5年7月22日（土）

場所：本校第1化学教室、第1・2生物教室、LL教室、白華ホール

小学生を対象とする科学講座を、生徒がボランティア・リーダーやスタッフとしてボランティア活動の企画や運営に取り組んだ。今年度は夏季休業最初の土曜日に日程を変更し、時間を区切って入れ替え制とした。本校生徒による15ブース、他校生徒による1ブースを開設、小学生97名と保護者が参加した。内容も科学の面白さを伝えるものや夏休みの宿題のヒントとなるもの、制作物を持ち帰ることができるものなど多彩なブースを準備した。

■成果・効果

参加者によるアンケート結果では、「いろいろな実験ができてとても楽しかった」「高校生が優しく説明してくれて分かりやすかった」「来年も参加したい」など大変好評であった。生徒たちも行事にあたっての準備や安全に配慮して実験を考えることの重要性、分かりやすく相手に伝えることの難しさ、子ども達と一緒に実験をすることで得られた充実感や達成感など多くの学びを得たようである。これらの活動を通して、生徒自身の自然科学に対する興味関心や学習意欲の向上に繋がるとともに、地域貢献活動の意義や楽しさを体験することができた。

玉島サイエンスフェア



岡山県立水島工業高等学校

交流学习による専門性を生かした社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

工業化学科では、科目のなかで環境の大切さを学習している。本校の生徒が、近隣の小学生に対して普段の学習成果を発表し、体験活動を補助することで自信や満足感を感じ、より良い社会づくりに積極的に貢献する人材を育成することを目的としている。また、環境の大切さを伝えることは、小学生のみならず、地域全体の環境への取組を推進する上で大きな効果が期待できる。学んだことを生かし、教えることで、科学技術の進歩に主体的に対応できる、実践的な技術者の育成を目指す。その他の科や部活動でも環境フェスティバルなどに参加し、交流の場を生かし社会貢献する力を育成する。

■活動内容

小学生が各家庭から持ち寄った使用済みの天ぷら油（廃油）を原料として、簡単な装置を使った石けんづくりを行う。また、本校で作成しているバイオディーゼル燃料や燃料電池車MEC I Aの紹介を行い、現在のエネルギーや地域の環境問題について関心をもってもらう。最後は未来のエネルギーや身近な環境についてどのようになればよいかを小学生と高校生と一緒に考え、意見をまとめる。アンケートを通じて取組の振り返りを行う。

今年度は倉敷市内の小学校3校 4年生を対象に、次の交流学习を行った。

- 令和5年 6月 5日：倉敷市立西阿知小学校4年生6クラス193名対象
廃食用油石けん作り（工業化学科3年生38名参加）
- 令和5年 6月12日：倉敷市立乙島小学校4年生2クラス50名対象
廃食用油石けん作り（工業化学科3年生38名参加）
- 令和5年 6月26日：倉敷市立旭丘小学校4年生2クラス60名対象
廃食用油石けん作り（工業化学科3年生38名参加）
- 令和5年 9月17日：くらしき環境フェスティバル参加燃料電池MEC I A試乗体験
（機械科、ねじロボット）（工業化学科、教員4名、生徒10名参加）
- 令和5年10月 2日：倉敷市立西阿知小学校4年生3クラス96名対象
BDFプラント見学（工業化学科3年生4名参加）
- 令和5年10月16日：倉敷市立西阿知小学校4年生3クラス97名対象
BDFプラント見学（工業化学科3年生4名参加）

交流学习



- ・令和5年12月18日：倉敷市立旭丘小学校4年生2クラス60名対象
燃料電池 MECIA の体験試乗（工業化学科3年生4名参加）
- ・令和5年12月20日：倉敷市立西阿知小学校4年生3クラス97名対象
燃料電池 MECIA の体験試乗（工業化学科3年生4名参加）
- ・令和6年 1月12日：倉敷市立西阿知小学校4年生3クラス96名対象
燃料電池 MECIA の体験試乗（工業化学科3年生4名参加）
- ・令和6年 1月16日：倉敷市立旭丘小学校4年生2クラス名54名 本校生徒4名小学校訪問

■成果・効果

環境を題材とした交流学习を通して、年代の違う児童とのコミュニケーション能力を養い、環境や化学に興味・関心を持ってもらうことでキャリア教育の充実を図った。普段の学習活動を地域に発信しながら地域文化の拠点としての学校づくりを推進し、未来を担う生徒の資質能力を向上させることができた。そして何よりも小学生の笑顔と文化祭での再会など地域でのつながりのきっかけになっている。今後のコミュニティスクール構想にもつながる可能性がある。

岡山県立津山高等学校

津山中高学習支援チーム

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

- 自ら参加することで主体性を養う。
- 中学生とのコミュニケーションを通して聴く力・伝える力が向上する。

■活動内容

- 津山中学生への学習支援

■成果・効果

- つながる！
自分も中学生の頃、津山高校生に教えてもらえる機会があれば良かった。
後輩にも自分たちの活動をつなげてほしい。

中学生への学習支援



岡山県立玉野高等学校

地域に根差した、次世代育成のための社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

老人福祉施設への訪問や地域清掃活動等を通じて、社会の一員としての自覚を持たせ、環境の保全や郷土を愛する心を育むとともに、自己肯定感や道徳的実践力を高める。ボランティア活動や部活動等を通じて小・中学生と交流する中で、他者を思いやる心や責任感などを育む。

■活動内容

①築港小学校でのアシスタントティーチャー

- ・教育学系大学志望の生徒を中心に、地元地域の小学生を対象に、夏休みの課題や理解できていない箇所に対する学習指導及び支援を行った。

②築港小学校での陸上記録会補助

- ・学校設定科目「スポーツ」選択者が、地元地域の小学生を対象にして、陸上競技会に向けての練習の補助や本番日の準備等の補助を複数回行った。

■成果・効果

社会貢献活動等の自粛が緩和された今年度、校内では様々な活動が行われ、活動募集の数と参加人数が向上した。その中で、「歩いて1分」近距離立地の築港小学校との連携を特に深めていった。今回取り上げた2つの取組以外にも、音楽の授業において楽器演奏や音楽鑑賞などの取組を行った。これらの取組が、生徒の教育系分野への興味・関心をさらに育むとともに、新たな関心へとつながって行ってくればよいと考える。

また、今年度は教員による中学1年生への模擬授業（宇野中学校）を行ったが、次年度以降は生徒による模擬授業や授業連携等、近距離立地を最大限活用した取組を模索したい。

①アシスタントティーチャー



②陸上記録会補助



岡山県立玉野光南高等学校

異年齢との交流、他者交流

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

小学生とのふれあい等、異年齢との交流による他者理解を深めること、地域の教育活動に貢献する態度の育成がねらい。

■活動内容

11/25（土）に「はちはま・おおき子ども楽級」を行った。各小学校1年生から6年生まで合計40名程度の児童が参加した。開会行事終了後、保健委員による「保健クイズ」、普通科、情報科有志による「ゲーム体験」、「ニュースポーツ体験」、演劇部による「演劇体験」クッキング部による「お菓子づくり」、吹奏楽部による「演奏体験」を行った。生徒会執行部を中心に企画・運営を行った。

■成果・効果

「こども楽級」の様々な体験を通して、異年齢とのコミュニケーションをとりながら、どの活動も楽しさやみんなと一緒に行動することで喜びを感じることができた。地域の教育活動に貢献することができた。

クッキング部による
「お菓子作り体験」



岡山県立笠岡高等学校

社会貢献活動を通して共に成長する

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

質の高い社会貢献活動の実践を通じ、責任感や公共心を持って集団に寄与し、学校や社会の一員としての自覚を深めさせる。

■活動内容

千鳥ゼミでは、小中学生を対象として学習支援活動を行った。小学生31名、中学生14名にご参加いただき、本校生徒がボランティアスタッフとして、夏休みの課題の解説や書道体験の指導を行った。

■成果・効果

原則としてすべての運営・進行を生徒が主体的に行うことができ、地域の教育活動に貢献する態度やその取り組みにおける責任感を養うことができた。また、日常では授業を受ける側で解説を聞く（インプット）立場であるが、学習支援を行うこと（アウトプット）で物事を伝えることを体感することができ、分かりやすく伝えるための工夫を行うことができた。

千鳥ゼミ



岡山県立笠岡高等学校

社会貢献活動を通して共に成長する

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

質の高い社会貢献活動の実践を通じ、責任感や公共心を持って集団に寄与し、学校や社会の一員としての自覚を深めさせる。

■活動内容

サイエンス部では、地域社会への貢献のため、8月4日に夏休み科学教室を笠岡高校で開催した。市内の小学生14名が参加し、サイエンス部の生徒自らが内容を企画し、環境をテーマとして科学の面白さが体験できるワークショップを実施した。「カブトガニと干潟調査」「マイクロプラスチック」「河川調査」の3つのテーマで、クイズや観察、実験を通じて小学生と交流を図った。

■成果・効果

地域の小学生との学習交流を通じて、大人として関わり、その役割や責任を体感することができた。また、地域の環境問題をテーマに、小学生との科学的な関わりで、環境を守る意識の高揚を共有できた。企画段階から生徒の主体的な取り組みとなり、自主性・協同性・創意工夫・表現力などの育成に大変有意義であった。部長生徒は「環境問題を小学生にもわかる言葉で伝えるのは難しかった。でも、うなずいてくれたり笑顔になってくれたり、伝わったという手応えがあった。頑張って準備した甲斐があった。」と振り返った。

サイエンス部による夏休み科学教室



岡山県立笠岡高等学校

社会貢献活動を通して共に成長する

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

質の高い社会貢献活動の実践を通じ、責任感や公共心を持って集団に寄与し、学校や社会の一員としての自覚を深めさせる。

■活動内容

英語部では、普段の学習で得た英語の知識を生かしながら他者に英語を伝える楽しさを感じ、今後の学習活動への意欲を高めるために近隣のこども園と交流を図っている。クリスマスに際し、クリスマスをテーマに歌や手作りカルタで英単語を伝えたり、英語で絵本の読み聞かせを行ったりした。読み聞かせは、翻訳と寸劇を交えたので園児にも内容が十分に伝わり、楽しんでくれているようであった。交流会の最後には、生徒と園児でダンスを踊り、非常に盛り上がる事ができた。

■成果・効果

笠岡認定こども園の先生方にご支援をいただきながら、生徒が生き生きと活動することができた。この交流を通じて、英語を他者に伝える喜びを十分に味わうことができ、今後の学習意欲の向上に有効であった。また、この交流を通じて、園児とのコミュニケーションスキルの向上や思いやりの心を持つこと、主体的に地域貢献を行う態度の育成がはかれた。

英語部によるこども園との交流会



岡山県立笠岡高等学校

社会貢献活動を通して共に成長する

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

質の高い社会貢献活動の実践を通じ、責任感や公共心を持って集団に寄与し、学校や社会の一員としての自覚を深めさせる。

■活動内容

図書委員会は、例年、年3回の読書週間に笠岡児童クラブの小学生を招いて「読み聞かせ」の交流活動を行ってきた。しかし、過去2年間はコロナ禍のため、その活動を見合わせ、訪問形式での交流を図ることとした。今年度も同様に実施した。

3月に笠岡認定こども園の園児たちに図書委員が絵本の読み聞かせを行った。手遊び歌でアイスブレイクを行い、その後絵本の読み聞かせを行った。最後に園児の皆さんから合唱のお返しプレゼントがあり有意義な交流となった。

■成果・効果

こども園の園児30名に向けて絵本の読み聞かせを行った。訪問させていただいた生徒たちは、短時間ではあったが子どもたちの反応を直接見ることができ、自分たちの想いが子どもたちにしっかりと伝わり、自分たちが社会に貢献できたことを実感できたようである。小学生と日ごろ触れ合うことのない高校生にとって、とても有意義な機会となった。

図書委員による絵本の読み聞かせ



岡山県立笠岡工業高等学校

笠工テクノ工房 ～工業の力で地域に貢献～

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

「笠工テクノ工房」は課題解決学習を基盤とした、地域に貢献するための活動である。社会との連携や協働の中で、未来の創り手となるために必要な課題解決力や資質を育み、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力など、これからの社会で必要不可欠な能力の向上を目指す。

■活動内容

地域からものづくりで解決できる困り事を募集し、3年生の課題研究の授業で取り組む。活動は依頼者への連絡から打ち合わせ、製作、寄贈まで生徒が主体的に行う。

○令和5年度の主な取組

バックネットの土台の溶接・テントの骨組み修理・トンボの製作（中学校）

和風イルミネーションの製作・ドローンによる園庭からの空撮とふれあい（保育園）

テーブルの足の長さ調節・フェンス支柱・扉の修繕（こども園）

猪捕獲器（箱罾）製作（笠岡市）

■成果・効果

地域の方たちと直接触れ合うことで、課題を解決するための思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度が養うことができた。特に学校園での寄贈式で子どもたちが喜ぶ様子を見ることで、達成感や自己有用感を得ることができ、日頃の学習活動も活性化し、授業により意欲的に取り組むようになった。

イルミネーション製作の打合せ
（保育園）



猪捕獲器（箱罾）製作
（笠岡市）



フェンス支柱・扉の修繕
（こども園）



岡山県立笠岡商業高等学校

高校での学びを活かした社会貢献活動

【取組の概要】

■ 社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

本校の学校経営計画の育てる生徒像に示している、地域の様々な人とコミュニケーションをとり、地域貢献ができる生徒を育成する中で、「つながる力」「考える力」「創造する力」「地域を愛する力（心）」「人のために動ける力」の5つの力を身に付けさせたい。

■ 活動内容

毎月1回地元大仙院の縁日にあわせて開催している「おかげいち」に参加。笠岡小学校3年生と連携し、うらじゃを披露したり、商品を販売したり、笠岡市商店街のガイドを行った。

3年次の課題研究講座「笠SHOP」では観光ツアーの企画、ツアーガイドや商品開発に取り組んでいる。講座内で学習した内容を実践したり、高校生が開発した商品を販売したり、小学生とともに取り組むことで、お互いの学びを深めることができた。

笠岡市のイベントに小学生と参加し、盛り上げることができ、今後の笠SHOPの活動に活きる貴重な時間となった。

■ 成果・効果

小学生とともに取り組むことで、恥ずかしさを感じさせない呼び込みでの声の大きさ、店舗内での笑顔など小学生から学ぶこともあった。本校の生徒も交流をとおして小学生はもとより地域の方々、小学校の先生方など幅広い世代の方々とコミュニケーションをとる中で、本校の5つの力を身に付けることができた。

本校生徒と小学生のうらじゃ披露



小学生とともに商品販売



商品販売前のPOP取付作業



岡山県立井原高等学校

サーモンプロジェクト

※「サーモンプロジェクト」のネーミングは、生まれ育った川に戻る鮭（サーモン）のように、成長した本校生徒が小学校に戻ることをイメージして、生徒の投票により名付けられた。

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

- ①小学生への学習支援活動を通して、教えることの難しさや喜びを体験し、自らも学ぶ姿勢を身につける。
- ②ボランティア活動を通して、自己の成長を促す。
- ③地元の小学生と交流することで、地域社会との連携を図る。

■活動内容

小学生学習支援ボランティア

- 1回：教育学系の大学や職種に興味を持つ井原高生（普通科・地域生活科）の希望者が指導員となり、地元地域の小学生3～5年生を対象として、夏休みの課題等の支援を2日間行った。内容は小学生が困り感を持っている科学研究・作文・絵画を中心に指導した。事前に小学校で、指導のポイントやアドバイスの方法等の研修を行い、実施した。
- 2回：1回目で参加した生徒が自ら小学校に出向き、小学校の校長にサーモンプロジェクトのプレゼンをした。また、小学生へ向けての呼びかけポスターを作成したり、グループ割等を行い、運営全般を携わった。1回目と同様に冬休みの課題を中心に学習指導や支援を行った。課題が早く終わった児童には、追課題を課す等、学びを更に深められるよう配慮した。

■成果・効果

最初はお互いが緊張していたものの、すぐに打ち解け合い、小学生は生き生きと活動していた。地域の小学生との交流を通して、大人としての関わり方や、その役割や責任の重さを体験することができた。小学生の活動の様子を見たり、質問に答えたりすることで、参加生徒の自己肯定感が高まるとともに、教育分野へ興味・関心を持った生徒も現れたことから、この取組が生徒のキャリア教育に繋がったと考えられる。当初、予定していなかった2回目は生徒からの要望で始まり、企画段階から生徒が主体的に取り組み、生徒の自主性・協働性・表現力等の育成に大きく役立った。

学習支援（科学研究）



全員で集合写真



岡山県立井原高等学校

『井原デニム』の学びがつながる社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

『郷土を愛し、自ら進んで地域や社会に貢献する力』

○主体的に学ぶ力 ○課題を解決する力 ○コミュニケーション力 ○井原を愛する心

■活動内容

H23年度から井原市と連携し「綿プロジェクト」に取り組んでいる。収穫した綿は、デニム生地へ加工され、市内デニム関連企業が中心となり、「ハートフルデニムバッグ」という手提げ鞆を制作し、市内小学校一年生へ入学御祝品として贈呈している。本校の地域生活科ヒューマンライフコースの生徒も、「ハートフルデニムバッグ」の縫製に参加している。

【綿の栽培交流（井原市商工会議所）】

○芳井町与井の圃場にて、綿の栽培に取り組んだ。播種と収穫を井原市役所や井原市商工会議所、繊維産業の方との交流もかねて実施出来た。周年の栽培管理は地域生活科グリーンライフコースの生徒が行った。

【交流学习（井原小学校・高屋小学校）】

○綿を栽培している小学生に対して、綿の活用について交流学习を実施した。綿の糸くり体験や、小学生が興味を持って安全に取り組むことができるようにデニムを活用した小物作り体験を実施した。

■成果・効果

- 小学生との交流では、綿の栽培や活用について伝えることができた。特に綿の糸くり体験や小物作りなどは、小学生の興味関心を高められる体験内容を行うことができた。
- 井原市商工会議所が実施する「デニムの日」に関連した行事に参加し、地域の方々との交流において話し方や表現の仕方など、コミュニケーションスキルが向上した。また、郷土愛を育てることもでき、地域で活躍されている方に地域貢献活動への取組を評価されモチベーションが高まり、達成感も得ることができた。

綿の栽培交流



小学生との交流学习



「ハートフルデニムバッグ」の縫製



岡山県立高梁城南高等学校

専門性を生かした地域貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

地域に貢献する態度の育成と学習活動の深化や非認知能力、コミュニケーション能力及び自己肯定感の向上を図る。

■活動内容

- ・地域小学生を対象にした高校生によるプログラミング講習会（小学5年生対象）
- ・地域保育園と高校生によるふれあい交流会。

■成果・効果

本校では、年次進行で地域とともに歩み、交換するカリキュラムが組まれている。また、それぞれの学科が特性を生かしながら意欲的に地域に貢献しようと努め、生徒達も地域に社会貢献できている実感が体得できたのではないかと思われる。

小学生とのプログラミング
学習会



保育園児とのふれあい交流会



岡山県立邑久高等学校

専門性や特性を生かした社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

- ・地域と連携し、地域の活性化を図るための課題解決能力や主体性

■活動内容

- ・こどもひろばと連携した、ハロウィンの洋服作りやストラックアウト、おままごと、どんぐりを転がして遊ぶ遊びなどの、遊びのサポート。
- ・同じ道具やおもちゃでも成長段階によって遊び方やできることが発展していくことから、個々の子どもによって遊び方を変える工夫をした。

■成果・効果

- ・様々な年齢の子どもたちの様子や、子どもたちとの関わり方について学んだ。
- ・地域の中での自分たちの役割を認識し、今後の活動の課題を得た。

「こども広場と連携し親子遊びをサポート」



「個々の子供によって遊び方を変える工夫」



岡山県立勝山高等学校蒜山校地

地域の自然景観を保全するための社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

- ・「蒜山高原」の自然環境について理解を深め、実践を通じて知識を深める。
- ・中学生と共に環境教育について学び、今後の蒜山地域はどうあるべきなのか、主体的に取り組み、「地域社会のミライ」について表現しようとする。
- ・「茅刈り出荷組合」の、地域の大人の方々とふれあい、知見を深めつつ協働しようとする意識を高める。

■活動内容

「茅の活用」を通じて、蒜山の草原景観保全と茅の商品化、身近な SDGs の取組について、次世代を担う蒜山校地生及び蒜山中学生在と一緒に学ぶことで、本校地の魅力化と蒜山地区の地域活性化を図る。

○12月7日(木) 13:00～15:30

茅刈り事前研修会（蒜山中学校体育館）

- ・「蒜山高原の環境について」（茅刈り出荷組合他によるプレゼンテーション）
- ・チームビルディング(中学生と高校生による、全10チーム編成)
- ・茅刈りのシミュレーション
- ・まとめ

○12月8日(金) 13:30～15:30

熊谷地域での「茅刈り体験」

- ・茅刈り出荷組合による現地指導
- ・各チーム単位で茅刈り活動
- ・まとめ

■成果・効果

- ・「山焼き」から「茅刈り」という蒜山の伝統的人為的な営みは、環境に負荷が掛からない営みであっただけでなく、希少な動植物も結果的に保護していたことを知ることができた。
- ・地域社会の「次世代」を担う一員として、これからの「蒜山地域」のあり方について考えることができた。
- ・中学生／高校生／地域社会の大人、という協働作業を経て、見識を広めることができた。

茅刈り事前研修会(蒜山中学校)



茅刈り活動(蒜山熊谷地域)



岡山県立勝間田高等学校

FUN FOREST ～美作の森で林業体験～

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

自ら学んでいる学習内容を地域の人々へ、伝え発信することで自らの知識・技術をしっかり深化させるとともに、自ら考え行動する力を身に付けさせたい。また、自己肯定感を育み、豊かな心を養うことを目的としている。

■活動内容

NPO 岡山と連携して、SAVE JAPAN プロジェクト森林体験という、岡山県内の小中学生やその家族を対象に本校倉見演習をフィールドに林業体験を行った。このプロジェクトの目的は、地域住民の皆様が環境保全活動に参加するきっかけを作ることである。

活動内容

- ①のこぎりによる伐倒体験
- ②高性能林業機械の運転体験
- ③ツリークライミング体験
- ④樹木クイズ

■成果・効果

どの体験においても参加された方々の表情には、一生懸命さやワクワク感があらわれ、たくさんの笑顔を拝見することができた。また、本校生徒による林業指導などでは、参加された皆様にとって森林業のすばらしさを身近に感じる良い機会になったと思う。

ドローン撮影による
～森林業体験の参加者集合写真～

